

恵庭市営住宅入居申込書										
申込者	現住所					フリガナ				
	国籍					氏名				
	電話	(携帯) — —		(自宅) — —						
市営住宅に入居申込する家族等	フリガナ		続柄	生年月日	職業	勤務先の名称及び所在地	勤続年数	年間収入		
	氏 名									
	申込者			本人	. .			.		
	同居する親族				. .				.	
	別居扶養親族				. .				.	
希望団地			第一選択			第二選択				
	団地名	団地			団地					
	棟／部屋	号棟		号室		号棟		号室		
	間取り		階数	階		階数	階			
現在の住宅状況	現在居住している住宅の種類				備考					
	1 賃貸住宅（アパート・借家など） 2 親族所有の住宅									
	3 自己所有の住宅 4 公団・公社住宅・公営住宅									
	5 貸間・下宿・寮 6 その他（ ）									
	現在居住している住宅の間取り		家賃（円）							
現在居住している世帯構成										
1 本人 2 配偶者 3 子（ 人） 4 父母 5 祖父母 6 兄弟姉妹 7 その他 計 人										

(注) 太枠の部分に記入してください。本人または家族が持参してください。※印の欄は記入しないでください。

※確認欄					
住宅使用料	円	許可日	令和	年	月 日
敷金	円	入居日	令和	年	月 日

処理欄	入居募集名簿	チェック	収入分位計算	チェック	抽選玉数計算	チェック	受付者

(注) 太枠の部分に記入してください。

住宅の困窮状況	次に掲げる住宅困窮状況のうち、該当するものに○をつけてください。	
	1	現在、住宅以外の建物又は場所に居住している。(例：テント生活、車中泊、ホームレスの方)
	2	保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。(例：住宅倒壊の恐れ、ネズミが発生)
	3	他の世帯と同居しているため、著しく生活上の不便を受けている。(例：友人世帯の住宅を間借り)
	4	住宅がないため、親族と同居することができない。(例：現在の住宅の間取りが狭く同居不可)
	5	住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成の関係から衛生上、風紀上又は教育上不適切な居住状態にある。 (例：世帯員の増又は子どもの成長による狭隘化)
	6	自己の責めによらない理由で、家主、貸主などから立退きを要求され、適当な立退き先がない。 (例：取り壊しによる大家からの立退き要求)
	7	住宅がないために、勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。(市外在住で恵庭市勤務)
	8	収入に比べて、著しく過大な家賃の支払いを余儀なくされている。※生活保護(住宅扶助)の方は原則該当しません
9	その他(具体的に記入してください) _____	

市営住宅入居申込者及び入居申し込みする家族等の市税納入状況		<input type="checkbox"/> 滞納していない
誓約書		
この申し込みについては、次のことを誓約します。		
1 この申込書に記入した事項は、すべて事実と相違ありません。		
2 この申込書に偽りの事項があった場合は、市営住宅の入居決定の取り消しを受けても異議申し立てをしません。		
3 この申込書に記入した住宅状況について事実調査をする場合は、その調査を妨げ又は拒絶しません。		
4 この申し込みに伴い、恵庭市の他の債務に関し、申込者及び入居申込みする家族等の個人情報(注)について収集及び提供することに同意します。		
(注) 個人情報とは、氏名、住所、居所、性別、生年月日、電話番号、勤務先住所、勤務先名称、債務負担額、納付状況、未納額、交渉経過、処分状況等をいいます。		
		年 月 日
恵庭市長様		
申込者氏名		

※印の欄は記入しないでください。

※収入計算表			
1 所得	=	3 公営住宅法に定める収入月額	
	=	所得金額：	
	=	一) 控除金額：	
所得額合計	円	収入年額：	円
2 控除額		収入月額：	円
同居・扶養控除額	円× 人=		
特定扶養親族控除額	円× 人=		
老人扶養控除額	円× 人=	4 年度入居収入基準	
障害者控除額	円× 人=	一般階層 月収額≤	
特別障害者控除額	円× 人=	裁量階層 月収額≤	円
寡婦・寡夫控除額	円× 人=	分位：	
ひとり親控除額	円× 人=		
基礎控除振替額	円× 人=	5 入居収入基準	
控除額合計	円	適合 ・ 不適合	